

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウス おおばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	昨年、町内の組長を務めたことで、地域との交流が密になり散歩時に近隣の人達と立ち話をするが増えた。その中で、介護相談を受けることもあり、職員は助言をしている。今年度は地域行事のお月見泥棒で、子ども達が事業所を訪問した際には、利用者が直接お菓子を渡しており、利用者からは子ども達と接することができ好評であった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回開催している。今年度5月に管理者が交代につき挨拶をしている。いきいき支援センターからの提案で認知症カフェを開催してはどうかとの声があり、現在検討中である。9月の会議の中で避難訓練を実施してその後、参加者より意見を貰い次回の改善点としている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区役所生活保護課職員から利用者の件で相談や助言を貰っている。介護保険課には、利用者と一緒に更新手続きに向いている。役所へは法人代表や本部の職員が出向き書類面の提出や福祉に関する事で協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族からは、面会時やケアプラン作成時に要望などを聞いている。家族より部屋の整理整頓の要望があり、掃除をこまめに行い清潔保持を保っている。毎月日頃の様子がわかる「サポートハウス通信」を家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				